

ほうじん本郷

いい出会い 地域に根ざす 本郷法人会



『つる瀬』和菓子甘味喫茶

昭和5年創業。湯島天神そば不忍池畔。豆餅と豆大福の名店として知られ、季節の和菓子も楽しい。甘味処を併設。

文京区湯島3-35-7 ☎03-3833-8516

営業時間：8：30～21：00

休 店 日：無休

『オザワ洋菓子店』洋菓子

家族経営ながら生ケーキ約50種・焼菓子15種が並び、フルーツロールやフロマーージュブランなども美味で手頃。

文京区本郷3-22-9 ☎03-3815-9554

営業時間：月～金9：40～19：30、土9：40～18：30

休 店 日：日・祝



イラスト：ふるさと画家 上野啓太

引 用：「食の文京ブランド100選 おいしゅうございまっぷ」より

※「食の文京ブランド100選」とは、区内商工団体が中心となって食生活ジャーナリストの岸朝子氏を委員長に「食の文京ブランド選考委員会」を設置。文京区内の優良な飲食店やお土産店100店を推奨し、区内の地域活性化を図ることを目的としている。

CONTENTS

新署長、副署長同時インタビュー	2～4
「ありがとう」と「Always Smile」 (森主 悟署長・兼頭 智子副署長)	
税務署だより	5
法人会の活動	6～7
NHK2013年大河ドラマ「八重の桜」ご紹介	8～9
東北がんばれ！ シリーズ4	
文京都税事務所だより	10
事務局だより	11

NEVER GIVE UP, JAPAN

がんばろう
日本

NO. 447

平成24年11月号

税務署だより

新署長、新副署長同時インタビュー 「ありがとう」と「Always Smile」

9月の長い残暑の名残が未だ冷めやらぬ10月2日、本郷税務署を訪問、7月に赴任して来られた森主悟署長と兼頭智子副署長のインタビューをさせて頂きました。今回は署長、副署長お二人同時同席にての異例のインタビューとなりましたが、お二人の明るい御性格の所為でしょうか、終始和やかに楽しくお話をさせて頂きました。

問：着任から3カ月、本郷地域の印象はいかがですか？

署長：名所旧跡も多く、多くの文化人に愛された長い歴史を有する文学の町で、一步大通りをはずれますと、歴史的な建造物が多く残されている坂の多い町でもある本郷の地での勤務は大変な喜びであり光栄なことです。また、この地に署長として赴任する事になり大変嬉しく思います。

副署長：大人の町というイメージです。以前から東大の緑の多さや街のたたずまいに惹かれていました。本郷署赴任をきっかけに、少しずつ本郷の名跡やお店めぐりを始めました。地図片手ですが、迷うのも発見があって面白く、個人的には名所より看板建築など古い建築物を見つけるのが楽しみです。その意味でも本郷に赴任して良かったと思います。

問：前任地でのお仕事は？

署長：東京国税局徴収部で3年間、滞納整理にかかる訴訟事務等をしていました。主に国が原告となる裁判などの仕事をしていました。それ以前は大口、悪質滞納者に対する滞納整理事務の仕事でした。



署長室でインタビューさせて頂く森田委員長（奥右）と五十嵐副委員長

副署長：神田署にいました。数年前には税務大学の教育官として税務についての国際貢献の仕事も経験させていただきました。外国での税の徴収や課税の仕方をシステムの、組織的にどうすれば良いかをアドバイスする仕事でした。

問：税務の仕事に携われるようになったきっかけは？

署長：高校生の時は証券会社を希望していましたが、先生に税務大学校を受験してみないかと言われて受験してみたら合格したのがきっかけです。

副署長：女性が一生続けられる仕事は公務員ということで公務員試験を受験し合格したことがきっかけです。当時は機会均等法の直前で、親元からの通勤が可能な女性しか採用されないような時代でした。

問：ご出身地は？

署長：静岡県安倍郡（現在の静岡市）で、男兄弟の4番目として生まれました。お茶とみかんの生産地でしたが、今はお茶のみです。川も山も身近に感じて過ごすことの出来る山菜の豊富な山河地域で、藁科川（安倍川の支流）は、水がきれいである鮎の里、ニジマスの

里でもあります。

副署長:岐阜県下呂市の出身です。大学に入る前は文字通り、緑の中で生活していました。実家は小売酒販店で、日本酒が好きなのですが今は体調的に不可となっています。

問:ご家族は?

署長:現在は最愛の妻と三男の3人です。ほかに息子がいますが、結婚適齢期の三十過ぎの息子の結婚を待ちわびています。

副署長:3人家族です。娘と自転車で都内散策によく出掛けます。

問:ご趣味は?

署長:部屋の模様替えが大好きで、妻がいない休日を利用して家具の配置換え等をしてしまいます。何が何処にあるのか解らなくなるので辞めて欲しいと妻によく言われます。休日にはラジオを聴きながらテレビを見て雑誌を読みながらゴロゴロして過ごすのも好きです。あとウォーキングでは同好会を主催したりしていますし、ドライブも好きです。体を動かす事が好きで以前は野球もしていましたし、最近は行っていませんがゴルフも月1~2回行っていました。吹奏楽部でトランペットを吹いていたこともあります。

副署長:ベランダでのガーデニングです。ツル植物愛好会に所属していますので、珍しい



左より 森田委員長、森主署長、兼頭副署長、五十嵐副委員長

ツル植物があれば紹介していただきたいと思います。

問:お好きな食べ物は?

署長:お刺身、寿司が大好きです。お酒もどちらかといえば日本酒が好きです。きゅうり、なす等はなぜか結婚してから好きになりました。

副署長:香辛料が好きで、珍しい香辛料や調味料を見つけるとついつい買ってしまいます。海外旅行時も、自由時間の殆どはマーケット探索です。

問:本郷法人会に対するご意見ご要望をお聞かせ下さい。

署長:利根川会長様をはじめ、役員並びに会員の皆様方には、永きにわたりまして、税務行政全般について深いご理解と多大なる御支援・御協力をいただいておりますこと、心から感謝しております。

地域と密接なつながりを持つ法人会様、税を考える週間等における幅広い広報活動を始めといたしまして、会員皆様への税知識を伝える研修会の開催・納税思想の高揚ほか、地域貢献事業等多種多様の事業活動を行っていただいています。

会員増強を含めまして、引き続き本郷税務署への御支援、御協力を賜りたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

また、「納税者の利便性の向上&事務の効率化」のためにも、定番のe-Taxの普及・利用拡大への更なる御理解・御協力も重ねてお願いいたします。

会員皆様方のご事業の繁栄と法人会の益々のご発展を願い、お祈りいたします。

副署長:利根川会長をはじめ皆様のご熱心なご様子にはいつも頭が下がる思いであります。「地域に根ざす法人会」として本郷地区の

税務署だより

未来を牽引して頂きたいと願っております。

問：座右の銘などありましたらお聞かせ下さい。

署長：「すべての事に感謝しよう」です。

仕事の面では職員に「明るく元気に、笑顔を絶やさぬように、一致団結して仕事に取り組んで行きましょう」とお願いしています。

モットー1「いつも喜び・全ての事に感謝しよう」=心のふれあいを大切に。

モットー2「大丈夫！心配するな何とかなる」=いつも明るくはつらつ行動。

日頃の心掛けとして大切なことは、「あいさつ」(全ての原点)だと思います。特に、感謝の心を表す、「ありがとう」が大好きです。

◆一日はあいさつに始まり、あいさつに終わる。

- あ 愛情をこめて
- い いつでもどこでも
- さ 先に自分から
- つ 続けよういつまでも

◆そして、応接・接遇の基本といいますと、

- N にこにこ
- H はきはき
- K きびきび

その他、職員へは、「心掛け4カ条」として

1. 公務員であることの自覚をしっかりと

り持つ

2. プロとしての誇りを持って職務に当たる=誇りと喜び:情熱を持って役割を果たす
3. チームワークを大切にする
4. 心身両面において健康を維持していく

をお願いしております。

副署長：永年祖母と母がうまく付き合ってきた理由として祖母の「嫁は愛想もないが悪気もない」という言葉が印象に残っていますが、やはり何と言っても

「Always Smile!」が現在の努力目標です。

昨年の初の女性署長に続き今回も初の女性副署長インタビューで、お二人と共にインタビューする側も少々緊張ぎみでしたが時間と共に緊張もほぐれ、3時には署内に音楽が流れ、署長の指示によるリフレッシュ体操(国税体操)を署員全員で実施しているそうで署長のお人柄が偲ばれました。ちなみに、応接セットの配置も昨年とは違って、署長のお客様を感謝の気持ちを持っておむかえしたいとの気持ちから模様替えされたそうです。

(五十嵐 記)

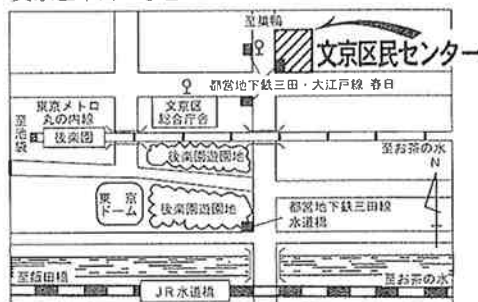
決算法人説明会の会場が変わります

毎月、税務署5Fの大会議室で開催しております決算法人説明会等につきましては、平成25年1月～3月の間、同会場が確定申告説明会の準備会場となります。

つきましては、下記のとおり、決算説明会を文京区民センターで開催することといたしますので、お間違えのないよう、よろしくお願いいたします。

名称	日時	開催場所	講師	内容
決算法人説明会	1月16日(水) 午後1時30分～3時30分	区民センター 2A	本郷税務署 審理担当官	申告と決算の 基礎知識 法人税・消費税・ 源泉所得税の 改正点とチェック ポイント
	2月19日(火) 午後1時30分～3時30分			
	3月22日(金) 午後1時30分～3時30分			

＜区民センター住所＞
文京区本郷4丁目15-14 Tel 03-3814-6731



ダイレクト納付はこんなに便利です



ダイレクト納付とは

ダイレクト納付とは、事前に届出をしておけば、e-Taxを利用して電子申告等をした後に、届出をした預貯金口座からの振替により、即時又は期日を指定して電子納税することができる方法です。

ダイレクト納付のメリット

ダイレクト納付は、税務署や金融機関に向くことなく、自宅やオフィスなどから納付が可能となるほか、その他の電子納税にはない次のようなメリットがあります。

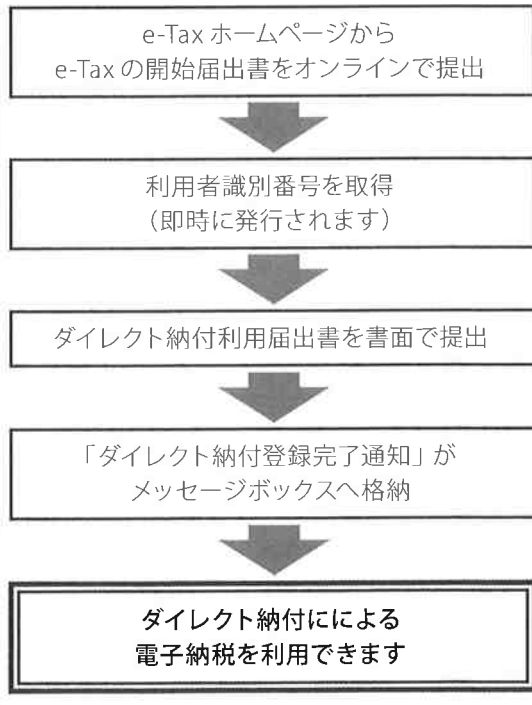
- 1 インターネットバンキングの契約が不要。
- 2 期日を指定して納税することが可能。
- 3 税理士が納税者に代わって納付手続きを行うことが可能。

対象となる税目

電子申告等が可能な税目（源泉所得税、法人税、消費税及び地方消費税、申告所得税、酒税、印紙税）が対象となります。

- ※1 特に電子申告等の利用回数の多い手続きに便利です（源泉所得税の毎月納付手続きなど）。
- ※2 e-Taxに納付情報登録をすれば、上記の税目に関わらず全税目でダイレクト納付が利用可能となります。納付情報の登録については、e-Taxホームページ（www.e-tax.nta.go.jp）でご確認ください。

ダイレクト納付利用開始のための手続



e-Tax に関する情報は e-Tax ホームページへ www.e-tax.nta.go.jp
 e-Tax の操作に関するお問い合わせは e-Tax・作成コーナーヘルプデスクへ 電話番号 0570-015901
 税に関する情報は国税庁ホームページへ www.nta.go.jp

駕籠町小学校で租税教室を実施

— 青年部会が内容を見直した成果を披露 —

青年部会（田中部会長）が9月7日（金）、租税教室を駕籠町小学校で開催した。まず、児童たちが班に分かれ税金クイズにチャレンジしてもらい、正解が一番多かった班には1億円のレプリカにも触れるご褒美があった。

○9月15日（土）誠之小学校で開催



講師を務める埴副部会長（左）と細田幹事

青年部会が社会貢献活動の一環として婚活パーティーを開催

一般社団法人 LOVE CULTURE MOVEMENT がプロデュース 本郷法人会青年部会（田中部会長）が平成24年9月5日（水）午後6時より湯島天満宮「参集殿」において婚活パーティーを開催した。

パーティーは潮風洋介氏（No.445号で紹介）の企画により進行され、平日にもかかわらず定員を上回り（男性34名、女性31名）、参加者は伝言ゲーム等のイベントを時間まで楽しんだ。また、名刺作成コーナーを設け自

前の名刺などを作りそれぞれ連絡先の交換をした。



会場での記念撮影

退職所得の源泉徴収を学ぶ 第3回源泉基礎講座

第3回源泉基礎講座が9月5日（水）、午後2時より本郷税務署大会議室で開催され、赤川上席調査官より退職所得の意義と範囲について、退職所得に該当しないものの説明や退職所得の収入すべき時期について、また、退職所得に対する所得税の源泉徴収は、退職手当等を支払う際に行い、それがいつの年分の所得になるかは、その退職手当の収入すべきことが確定した日の属する年分によって判定するなど一般的な場合がフローチャートを使い説明がされ、最後に特殊な場合の退職所得

控除額の計算方法が設例を交えながら解説がされた。



赤川上席調査官が分かり易く解説

平成24年度会員増強大会及びチャリティー寄席 — 上野「鈴木演芸場」で214名が参加 —

平成24年度会員増強大会及びチャリティー寄席が9月3日(月)、午後5時30分より上野「鈴木演芸場」で開催された。第1部会員増強大会は橋立社会貢献委員長の司会で始まり、まず、利根川会長が公益社団法人に認定された経緯と社会貢献の大切さを話した。引き続き、加藤組織委員長がこれから始まる会員増強月間について「地域を共有する法人会に是非、ご加入ください。」とあいさつを述べた後、森主税務署長が国税電子申告・納税システムについての話、共済制度受託会社の大同生命保(株)・AIU保険会社を代表して、大同生命の安部支社長が日頃の御礼と制度内容について説明した。

第2部チャリティー寄席は午後5時45分より始まり、奇術や紙切り・落語、三味線漫談・太神楽曲芸などの演芸を午後9時まで楽しんだ。



あいさつをする森主署長(中央)・利根川会長(左)



源泉部会が労務セミナーを開く 会社と社員を守る就業規則の整備を学ぶ

源泉部会(繁藤部会長)が7月4日(水)、午後3時より医科器械会館セミナーホールに於いて、フレンズコンサルティング社会保険労務士法人代表の山田順一朗氏を講師に「会社と社員を守る就業規則の整備」をテーマに7つのポイントについて開催した。内容は①採用(就業規則条文構成の注意点)面接時の留意点・試用期間の法的意味合いと設定・採用時の社員種区分を意識する・身元保証人を取る意味と価値・雇用契約書・入社誓約書②情報および情報施設管理③労働時間管理・定年制について時間外労働等取り扱いの注意点・「割増」に関する取り扱いの誤解・時間外、休日勤務の事前許可制と「固定残業手当」・「安全、健康配慮義務」と労働時間管理・年俸制の誤解・フレックスタイム制の誤解・「賞与をもっと活用」と

規定④サービス残業対策⑤休職・退職・定年等⑥セクハラ・パワハラ⑦退職金について説明され、最後に就業規則の「これだけはやってはいけない!」ことについて①当然ながら「違法」規定②会社の現状と乖離した規定③はっきりしない規定④社員周知をキチンと行っていない規定⑤表現が「ネガティブ」な規定⑥変更後の内容がトゲトゲばかりの規定になっていないかなど。



山田先生の説明を熱心に聞く参加者

八重の桜

【作】山本むつみ



▲三の丸の壁に刻んだ歌の書と帯刀姿の八重 (同志社大学提供)

八重らんしよ

見らんしよ 読まんしよ

vol.4
[足跡] 編

平成24年2月発行

“幕末のジャンヌ・ダルク”。新島八重がこう呼ばれるようになった背景には、戊辰戦争が大きく関係してきます。中でも、数々の激戦が繰り広げられた故郷・会津若松には、彼女が刻んだ『足跡』が残されているのです。

主君のため 亡き弟・三郎のため 籠城戦に挑んだ八重

八重の足跡をたどる上で最も重要な場所は、籠城戦の舞台となった鶴ヶ城です。籠城戦の開始は、新政府軍が城下に侵入した慶応4(1868)年8月23日の朝。城下の住人は、敵の襲来時、鐘の音を合図に三の丸に集合して、そこから入城するようになっていました。鐘が鳴った当時、城へ向かうつもりだった八重。しかし母・佐久は、『籠城しても女性は足手まといになる上、ただ食糧をいただくのは不忠になるから』と考え、他に避難するつもりでした。そんな2人の元に「城内での女手が足りない」との知らせが届きます。主君のため、そして鳥羽・伏見の戦いで負傷が原因で亡くなった弟・三郎のため、八重は母と一緒に入城して戦うことを決意しました。



▲無数の砲弾が撃ち込まれた鶴ヶ城

銃や大砲を駆使して 男性顔負けの大活躍!

籠城戦で銃や大砲を用いて戦っただけでなく、兵糧炊きや弾丸製造、負傷者の手当てなどの任務もこなしていた八重。しかし彼女が一番の輝きを放つのは、やはり砲撃戦の時でした。籠城戦開始から数日後、新政府軍は鶴ヶ城南東の小田山に砲台を設け、そこから天守閣に向けて砲弾の雨を降らせました。負けじと八重も最初の夫・川崎尚之助らと共に、城南の砲台から砲弾を撃ち返します。ほかにも、撃ち込まれた不発弾を分解して藩主・松平容保に説明したり、ケペール銃を片手に夜襲に出たりと、男性顔負けの大活躍!その後、会津藩は降伏しますが、八重は最後の夜を過ごした三の丸の壁に『明日の夜は いつこの誰か眺むらん なれしお城に 残す月影』と歌を刻んでいます。会津藩を勝利に導くことはできませんでしたが、“幕末のジャンヌ・ダルク”は、後世に語り継がれる大きな足跡を残したのです。

福島県内に残る 戊辰戦争の足跡

戊辰戦争では、会津地方をはじめ中通りや浜通りなど、県内全域が戦いの舞台になりました。ここでは、当時の刀傷や弾痕など「戦いの足跡」が残るスポットをご紹介します。

会津地方



旧滝沢本陣(会津若松市)

戊辰戦争時の会津藩の大本陣。戸や柱には、刀傷や弾痕などが数十カ所残っています。

中通り



安達太良神社(本宮市)

安達一群の総鎮守。銃撃戦の激しさを物語るかのように、拜殿の柱には弾痕があります。

浜通り



良善寺(いわき市)

磐城平藩第5代藩主・安藤信正が眠る寺院。山門の扉には弾痕が残っています。



浜・中・会津 魅力いっぱい うつくしま!

福島県は、八重が生まれ育った「会津地方」、内陸部の「中通り」、海岸部の「浜通り」と、3つの地方に分けられます。今回ご紹介するのは、八重のふるさと・会津若松市と猪苗代町、中通りの郡山市、白河市、矢吹町。歴史を体感できるスポットや魅力的な伝統工芸品、料理など見どころであふれています。みなさんも、そんな福島県の魅力に触れてみませんか?

長命寺 (会津若松市)

市街戦で最も苛烈な戦いが繰り広げられた場所

京都本願寺第12世教如人が満生秀行に請い、若松城下日野町(今の上町)に建立。「本願寺掛所」としたのがはじまりといわれています。会津はもちろん東北の各地にも布教し、後に最高の寺格を表す白線の五條の築地塙を許されました。この築地塙が有名になったのは、戊辰戦争の当時の鉄砲弾が無数に残っていて、そのすさまじさを物語っていたため。長い間戦いの跡をそのままに残してきましたが、老朽化による塙の崩れを防ぐため、いくつかの弾痕を残した状態で修復されました。



お問い合わせ

長命寺 TEL:0242-27-7003

会津

浜通り

母成峠 (猪苗代町・郡山市)

戊辰戦争激戦の地

猪苗代と郡山を結ぶ母成グリーンラインの最高部を母成峠といえます。戊辰戦争の際「母成峠の戦い」があった場所です。会津に進攻しようとする新政府軍約3,000に対し、守る旧幕府軍約800。結果、数や武器に勝る新政府軍に押され、旧幕府軍が敗走しました。会津攻めに勢いを付けたことから、最も重要な戦いの一つです。峠には古戦場碑や慰霊碑があり、ほかに紅葉や牧場、名瀑「銚子ヶ滝」など、安達太良連峰の豊かな景観が広がります。



お問い合わせ

猪苗代観光協会 TEL:0242-62-2048

会津 中通り

白河口の戦い (白河市)

白河の地に多くの砲が散った 約100日間にわたる攻防戦

鳥羽・伏見の戦いを発端として起こった戊辰戦争。白河口の戦いは慶応4(1868)年、閏4月から7月(6月から8月)にかけて起こった、白河城をめぐる奥羽列藩同盟と新政府軍との戦いです。新政府軍の巧みな戦術と新型洋銃に、惨敗を喫した同盟軍。7回にわたり白河城奪還を試みるも、失敗に終わります。

白河見聞館には、戊辰戦争の経緯の説明や使用されていた砲弾や銃、会津藩主・松平容保の和歌などの貴重な史料が展示しており、当時の様子に思いをはせながら見るができます。



お問い合わせ

白河見聞館(楽蔵内) TEL:0248-29-8630

中通り

会津唐人凧 (会津若松市)

籠城戦で子どもたちが揚げた 会津伝統の合戦凧

むき出した目と口からダラリと出た長い舌が印象的。江戸時代には、尾の先に刃物を仕込んだ凧同士で戦わせて、相手の糸を切った方が勝つ「凧合戦」という楽しみ方をしていました。また、戊辰戦争の籠城戦の際、鶴ヶ城から子どもたちが会津唐人凧を揚げていたという逸話があります。これは城が西軍に囲まれて不利な状況になった時、城内の士気を高めるため、そして西軍に「まだ余裕がある」と思わせるためでした。その勇壮な舞姿は、会津藩士の子どもたちに変大人気がありました。



お問い合わせ

会津若松観光物産協会 TEL:0242-24-3000

会津

忠七桜 (郡山市)

会津 戊辰戦争の犠牲者をしのぶ桜

樹齢約170年の紅枝垂桜で、三春藩出身の宗像忠七によって移植されたために「忠七桜」と呼ばれています。忠七は戊辰戦争の際、西軍の荷物運びとして意役されて、会津まで食料や武器を運びました。そこで目を覆いたくなるような状況に心を痛めた忠七。故郷に帰ると自宅前にあった桜を現在の場所に移植して、一帯を「寿命山」と名づけて整備しました。そして桜の木の下に祠を建てて、人々の霊を慰めたそうです。忠七の遺言により大切に守られてきた忠七桜は、現在も鮮やかな紅色の花を咲かせます。



お問い合わせ

郡山市観光協会 中田支部 TEL:024-973-2211

中通り

きじの里やぶぎ (矢吹町)

滋養ある旨みがつまった 晴れの日のごちそう

矢吹町には古くからキジが生息し、明治中期には日本で唯一、宮内省管轄の「キジ鳥」狩猟の御猟場となるほどでした。一般の人々の間でも、結婚式などの晴れの日には隣近所の人を招きキジそばが振る舞われ、みんなで祝ったといわれています。キジ肉は高タンパク・低カロリーで、交通の便が良くなかった時代に、貴重なタンパク源として重宝されていました。淡泊な味わいながらコクがあり、程よく身のしまった食感が魅力。現在も宮中の新年祝賀の儀では、「おきじさま」と呼ばれるキジ酒が振る舞われています。



お問い合わせ

お食事処 さ>川 TEL:0248-42-3339

中通り

お問い合わせ

福島県観光交流課委託事業 新島八重調査事業 八重をもっと知り隊 [事務局:(株)ル・プロジェ内]

TEL:024-995-3879 FAX:024-935-0042 e-mail:yae_shiritai@leprojet.co.jp URL:www.yae-mottoshiritai.jp

八重の桜

検索

